

# 家計のための 多期間最適資産形成モデル

慶應義塾大学 理工学部 枇々木 規雄

## 要旨

世帯の家計は、インフレに伴う実質資産価値の減少リスク、世帯主の死亡や疾病に伴う収入減少リスク、住宅の火災による損失リスクなど様々なリスクにさらされている。世帯の家族構成、収入・支出、資産・負債や住宅購入、子供の教育、退職後の生計などの将来に対する希望や目標を参考にして、様々なリスクを回避し、安定して資産形成を行うための多期間最適化モデルについて議論する。枇々木ら (2005, 2006, 2007) の研究成果をもとにして、家計のための最適化モデルの構築方法をまとめるとともに、いくつかの点について修正・追加をし、シミュレーション型多期間最適化モデルによる定式化を示す。より現実的な設定のもとで仮想的な世帯に対する数値分析を行う。